

メイプル取得後も市は責任ある対応を!



市は、先に依頼していた、取得を想定しているメイプル及びその敷地の評価額が、総額で約2億6千万円という、不動産鑑定結果が3月29日付で報告されたと説明しました。

今後、市は、地権者等から今回の評価額等に基づく取得予定価格による売却の可否について、あらためて意向確認し、メイプルの取得に向けて着手します。取得が5月以降にずれ込む見込みが説明しました。

4月17日市議会全員協議会が開かれ、メイプル閉店の対応、エネルギー・食料品価格高騰に対する取り組み等について、市当局から説明がありました。

日本共産党奥州市議団は、メイプルの件について、旧水沢市が支援をしてきたものであり、最後まで責任をもって対応する必要があること、市街地の中心である水沢駅通りにあるこの場所を廃墟にすることは避けなければならぬ、とこれまで主張してきました。

有効な活用策を!

瀬川貞清議員は、「今まで不動産鑑定予想額を1億円と説明されてきたが、今回示された2億6千万円との開きの原因はどこにあるのか」質しました。

担当者は「1億円は今までの説明を分かりやすくするための数字であり、鑑定額を見込んでの数字ではなく、あくまで仮の数字である」と述べました。

国では電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を増額しました。奥州市には、6億6864万9千円が交付されます。

低所得世帯支援と生活者支援、事業者支援の事業が行われます。

千葉敦議員は、事業者支援について、県で行われる支援(会社15万円、個人事業者7万5千円)に対して上乗せして支援するのが現実的では、と質しました。

担当者は、国や県の支援の役割があり、兼ね合いを見ながら進めていきたいと述べました。

千葉議員は、市内事業者の声として、「支援はありがたいが、書類を揃えるのは煩雑で、あると、県の支援に、市が上乗せしてもらおうと忙しい仕事の中では助かる」と聞いている。事業者の声に耳を傾けるべきだ、と主張しました。

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

業者の声に
応える支援を!

演説会のお知らせ

5/28(日)午後2時
盛岡市・県民会館大ホール

当日は大型バスを配車します

○11時30分 江刺総合支所西側駐車場出発

○正 午 水沢Zプラザアテルイ駐車場出発

○参加費 2,000円

○昼食は各自持参願います

GX 推進法案は見せかけの環境配慮、再エネに投資こそ脱炭素!



日本共産党
参議院議員
いわぶち友

4月18日

経済産業委員会でGX推進法案の質疑。冒頭、G7気候・エネルギー・環境大臣会合をうけた共同声明について質問。

今回も石炭火力の廃止は盛り込まれませんでした。イギリスは30年の全廃を要求したと報道されていますが、日本は2030年度時点で総発電量の1%を石炭火力でまかなうとしています。

これでは盛り込むことはできません。日本が進める化石燃料に水素やアンモニアを混ぜる混焼についても、「石炭火力の温存につながる」と指摘があり、GXについても「言葉があいまい」と削除が求められたなどと報道されています。

日本抜きG6の方が、もっといい合意ができたのでは?という声まで出ています。

ところが、GX推進法案では、脱炭素の名で原子力や、化石燃料と水素・アンモニアの混焼で行う発電にも投資できるとしています。

しかし原子力再エネ導入量が少なく、原子力発電と再エネの利用は相互に排除しあう傾向があるという研究結果があります。

アンモニア混焼については、混焼率が50%でも、ガス火力発電と同程度の温室効果ガスの排出になります。

見せかけの環境配慮であるグリーンウォッシュであり、原子力や石炭火力の延命になるものです。投資するのなら再エネにこそ投資するべきであり、脱炭素にも雇用にもつながります。

憲法・平和・くらし破壊する大軍拡NO!

- 賃金・年金上げて、消費税下げる
- 子どもの医療費・給食費ゼロに
- 高すぎる国保税は引き下げを
- コメと農業、酪農危機の打開
- 県政の継続・発展を

小池晃
党書記局長・参議院議員

千田みづ子
県議会議員

日本共産党

演説会
5月28日(日)午後2時
盛岡市・県民会館大ホール
5月23日(日)午後2時
盛岡市・県民会館大ホール